

ジグネチャーWDG

版番号 1/J
102000021897

1/10

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

1. 化学品及び会社情報

1.1 製品情報

製品の名称 ジグネチャーWDG

製品コード (UVP) 79705379

1.2 推奨用途及び使用上の制限

使用 殺菌剤

1.3 安全データシート作成者

供給者の会社名称・住所 エンバイロサイエンスジャパン
株式会社
東京都千代田区大手町一丁目6番1号 大手町ビル2階

電話番号 03 (6841) 3843

ファクシミリ番号

担当部門 エンバイロサイエンスジャパン株式会社 QHSE部

1.4 緊急時の連絡先

グローバルインシデント対応 +1 (760) 476-3964 (Company 3E for Bayer AG, Crop Science Division)
ホットライン (24時間対応)

2. 危険有害性の要約

2.1 化学品のGHS分類

JIS Z 7253 / GHS分類マニュアル（改訂6版）による分類

水生環境有害性 短期（急性）：区分3

H402 水生生物に有害

水生環境有害性 長期（慢性）：区分3

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

2.2 GHSラベル要素

JIS Z 7253 / GHS分類マニュアル（改訂6版）による表示

供給/使用のための危険有害性の表示が必要である。

注意喚起語: 非該当

ジグネチャーWDG

版番号 1/J
102000021897

2/10

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

危険有害性情報

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

P273 環境への放出を避けること。

P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

2.3 他の危険有害性

粉じんは空气中で爆発性の混合物を生成することがある。

3. 組成、成分情報

3.2 化学物質・混合物の区別：化学物質

化学名又は一般名

顆粒水和剤（WG）

危険有害成分

一般名	化学名	CAS RN / 官報公示整理番号(安衛 法)	濃度又は濃 度範囲 [%]
ホセチル	アルミニウム＝トリス（エ チル＝ホスホナート）	39148-24-8 2-(7)-331	79.4

4. 応急措置

4.1 必要な応急手当

一般的アドバイス

危険域から避難させる。被災者を安全な場所で安定な姿勢にさせること。（片側を下にして横にする）。直ちに汚染された衣類を脱がせ、安全に廃棄すること。

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移動する。患者を暖かく安静にしておく。直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。

皮膚に付着した場合

石鹼と水で十分に洗い流すこと。症状が持続する場合は、医師に連絡する。

眼に入った場合

直ちに、最低15分間はまぶたの内側も含め、多量の水でゆすぐ。コンタクトレンズを装着している場合は、着用した状態で最初の5分間洗浄した後に取り外し、更に洗浄を続けること。刺激があり継続する場合には医療機関で診察を受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

ジグネチャーWDG

版番号 1/J
102000021897

3/10

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

症状 次の症状が起こることがあります:、本製品は、眼、皮膚、粘膜への刺激性がある。

4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

リスク この製品から発生する物質以上の過剰ばく露の可能性を考慮する必要がある。

この製品はコリンエステラーゼ阻害剤ではない。

取り扱い 患者の状態に応じて適切な支持療法及び対症療法が推奨される。胃洗浄は通常必要ありません。しかし、多量（一口以上）に摂取した場合は、活性炭と硫酸ナトリウムを投与してください。特に解毒剤なし。禁忌：アトロピン。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤 泡、粉末、二酸化炭素（CO₂）、水噴霧

使ってはならない消火剤 大型棒状の水

5.2 特有の危険有害性 火災の際には危険なガスが発生する。

5.3 消防士へのアドバイス

消火を行う者の保護 火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。自給式呼吸装置と保護服を着用する。

詳細情報 煙が出ないようにすること。風上の位置から消火活動をすること。火災時は水を噴霧して密閉容器を冷却すること。火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

注意事項 許可されていない人を遠ざけること。危険有害区域を隔離すること。漏出した製品や汚染された表面との接触を避けること。保護具を使用する。こぼれた物を扱うときは、飲食したり、喫煙しないでください。

6.2 環境に対する注意事項 地表水、排水口、地下水に入らないようにすること。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

除去方法 粉じんの発生を避けること。こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。汚染された床や物を徹底的に清掃し、環境規制を遵守すること。

追加アドバイス 保護具を使用する。材料が誤ってこぼれた場合は、土壌、水路または廃水路に入らないようにしてください。

ジグネチャーWDG

版番号 1/J
102000021897

4/10

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

ローカルサイトの手順についても確認してください。

6.4 参照すべき他の項目 安全な取り扱いに関する情報は第7項を参照すること。
個人用保護具に関する情報は第8項を参照すること。
廃棄物処理に関する情報は第13項を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項 適切な排気装置が設置されたエリアでのみ使用する。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。粉じんの発生を避けること。

技術的対策 熱や発火源から遠ざける。

接触回避・衛生対策 取扱い後、食べたり、飲んだり、ガムを噛んだり、タバコを喫煙したり、トイレを使用したり、化粧品を使用する前に、石けんと水で徹底的に手を洗うこと。作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
本製品を取り扱った直後に個人用保護具（PPE）を取り外すこと。汚れた衣服を直ちに脱がせ、洗濯し再使用すること。徹底的に洗浄し、きれいな衣服を着用すること。

7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

安全な保管条件 乾燥した涼しい場所に保管するとともに、他の農薬、肥料、食料、飼料と一緒に保管することによる二次汚染を避ける。最初に入っていた容器を使って、子供が近づかないように、できれば鍵の掛かった保管場所に保管する。

一般的な保管について 食物、飲み物、飼料から遠ざける。

7.3 特定の最終用途 ラベルおよび/またはリーフレットを参照すること。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

成分	CAS RN	管理濃度	更新日	基準
ホセチル	39148-24-8	5 mg/m ³ (TWA)		OES BCS*

*OES BCS: Bayer AG クロップサイエンス部門内 "Occupational Exposure Standard"

追加アドバイス

この製品には企業秘密であり非公開で、OEL（職業ばく露限界値）を有する可能性のある物質が含まれている。

8.2 曝露防止

保護具

ジグネチャーWDG

版番号 1/J
102000021897

5/10

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

通常の使用および取り扱い条件では、ラベルおよび/またはリーフレットを参照してください。それ以外の場合は、以下の推奨事項が適用されます

呼吸用保護具

欧州規格EN149FFP1、又は同等規格に適合する粒子フィルターマスク付き（保護係数4）の呼吸用保護具を着用すること。
呼吸用保護具は、封じ込め及び/又は局所排気装置など、発生源からのばく露の軽減対策を取ったうえで短時間の活動の残留リスクを管理するために使用すること。装着及びメンテナンスに関しては製造元の説明書に従うこと。

手の保護具

手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。
汚染された手袋は洗うこと。内側が汚染した場合、穴が開いた場合、又は外側の汚染物質が除去できない場合は処分すること。飲食、喫煙、トイレの前には手をしっかり洗うこと。
材質 ニトリルゴム
透過度 > 480 min
手袋の厚さ > 0.4 mm
防護指数 クラス 6
指令 EN374に準じた防護手袋。

眼、顔面の保護具

欧州規格EN166(Field of Use;5)又は同等規格に適合するゴーグル型保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

標準的なつなぎの作業着とカテゴリ3タイプ5の化学防護服を着用すること。
重大なばく露のリスクがある場合は、より高機能の防護服を検討すること。
可能であれば、2層の衣類を着用すること。ポリエステル/綿または綿のオーバーオールを化学防護服の下に着用し、よく洗濯すること。

一般的な保護措置

すべてのラベルの指示に従うこと。
従業員に製品の安全な使用法の教育をすること。
PPEのクリーニング/メンテナンスについては製造元の説明書に従うこと。洗濯方法の説明書がない場合は洗剤と温水/ぬるま湯を使用すること。
PPEは他の洗濯物とは別に保管・洗濯すること。
皮膚や眼への接触を避けること。

9. 物理的及び化学的性質**9.1 物理的及び化学的性質の基本情報**

物理状態	顆粒水和剤
色	緑色
臭い	わずかな酸のにおい

ジグネチャーWDG

版番号 1/J
102000021897

6/10

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	約 3.9 (10 %)
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	非該当
可燃性	データなし
自然発火点	データなし
最低点火エネルギー	データなし
自己促進分解温度 (SADT)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 (上限値)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 (下限値)	データなし
蒸気圧	データなし
蒸発速度	データなし
相対ガス密度	データなし
相対密度	データなし
密度	データなし
かさ密度	0.513 - 0.609 g/ml (ゆるい)
水に対する溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	ホセチル: log Pow: -2.1
粘度	データなし
動粘性率	データなし
酸化特性	データなし
爆発性	データなし
9.2 その他の情報	その他の安全性に関するデータなし

10. 安定性及び反応性

ジグネチャーWDG

版番号 1/J
102000021897

7/10

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

10.1 反応性	通常の状態では安定。
10.2 化学的安定性	推奨保管条件下では安定。
10.3 危険有害反応可能性	規定の指示に従い保管・取扱いした場合、危険有害性反応は起こらない。
10.4 避けるべき条件	極端な温度と直射日光。 湿気への暴露。
10.5 混触危険物質	強酸化剤, 強酸, 強塩基類 他の容器に移し替えて保管しないこと。
10.6 危険有害な分解生成物	通常の実取扱い条件下では分解生成物はなし。

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

急性毒性 (経口)	LD50 (ラット) > 2,000 mg/kg
急性毒性 (吸入)	LC50 (ラット) > 5.0 mg/l ばく露時間: 4 h 粉じんにて測定した。 本情報は、構成成分のデータ及び類似する製品の毒性に基づく。
急性毒性 (経皮)	LD50 (ラット) > 2,000 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	皮膚 刺激性なし (ウサギ)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	わずかな刺激性 - 表示は必要なし (ウサギ)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	皮膚: 皮膚感作性なし (モルモット) 呼吸器系: データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

ホセチル: 入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

ホセチルは、動物実験において特定の標的臓器毒性を示さなかった。

生殖細胞変異原性

ホセチルは、in vitroおよびin vivoで変異原性または遺伝毒性を示さなかった。

発がん性

ホセチルは、ラット及びマウスの試験において発がん性は認められなかった。

生殖毒性

ジグネチャーWDG

版番号 1/J
102000021897

8/10

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

ホセチルは、ラットの2世代研究では生殖毒性を引き起こさなかった。

発生毒性

ホセチルは、ラットおよびウサギにおいて発生毒性を引き起こさなかった。

誤えん有害性

入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

魚毒性

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)) 137 mg/l
ばく露時間: 96 h

水生無脊椎動物に対する毒性

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)) 129 mg/l
ばく露時間: 48 h

水生植物に対する毒性

ErC50 (藻類) 15.3 mg/l
成長速度; ばく露時間: 72 h

12.2 残留性・分解性

生分解性

ホセチル:
急速分解性がある

Koc

ホセチル: Koc: 0.1

12.3 生体蓄積性

生体蓄積性

ホセチル:
生物濃縮なし

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性

ホセチル: 土壌中できわめて移動し易い

12.5 PBT および vPvB の評価結果

PBT および vPvB の評価

ホセチル: 生物濃縮性で有毒な難分解性化学物質 (PBT) とはみなされない。高生物濃縮性で高難分解性化学物質 (vPvB) であるとは考えられていない。

12.6 その他の有害影響

生態系に関する追加情報

言及すべき他の効果はない。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

ジグネチャーWDG

版番号 1/J
102000021897

9/10

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等産業廃棄物に関する法律、都道府県および市町村の関連条例に従って処理すること。

14. 輸送上の注意

国内規則

鉄道および道路輸送	非該当
指針番号	171
海上輸送	非該当
航空輸送	非該当

包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

IMDG	非危険物
IATA_C	非危険物
IATA_P	非危険物

15. 適用法令

15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

詳細情報

WHO分類: III (わずかに有害)

農薬取締法

登録番号 : 22643 (Bayer CropScience K.K.)

消防法

非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物

シリカ < 0.3 %

名称等を通知すべき危険物及び有害物

シリカ < 0.3 %

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)

第1種指定化学物質

化学名	番号	含有量 (%)
ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテル	410	4.2

ジグネチャーWDG

版番号 1/J
102000021897

10/10

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

16. その他の情報

1. 本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。
2. 記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした参考情報です。取扱いの際は用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。
3. 本資料は情報提供の目的のために作成されたものであり、その記載内容を保証するものではありません。

中毒の緊急問い合わせ先 : 公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い、急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民向け相談電話 医療機関専用有料電話
(情報提供料:無料) (情報提供料:一件2,000円)

大 阪 (365日、24時間対応) 072-727-2499 072-726-9923

つくば (365日、9時~21時対応) 029-852-9999 029-851-9999

医療機関の方が一般市民用電話を使用した場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。

最も最近の版以降の変更は、余白に特記してあります。この版は、これまでの全ての版に代わるものです。